



当日はオブジェクト倶楽部
特製エコバックをプレゼント

オブジェクト倶楽部のイベントに参加すると

エコに貢献できるかもしれない

って本当かな・・・

現在、ソフトウェア開発を取り巻くIT環境は、日々変化しています。
また、ソフトウェアが解決すべきビジネス環境も更なるスピードで刻々と変化しています。
変化、それは現在の社会を特徴付けるキーワードであり、この変化を敵にするか、味方につけるかが今後のソフトウェア開発の成否を握っていると言えるでしょう。

ソフトウェア技術者として、変化を味方につけるには、以下の四点が重要だと考えます。

- ・最新オブジェクト指向技術を使える形で理解すること
- ・変化を擁護する開発プロセスを持つこと
- ・ビジネス視点と顧客満足の視点を常にもつこと
- ・ナレッジを使える形で蓄えること

オブジェクト指向の考え方は、90年代に急激な進化普及を遂げ、現在のソフトウェア開発者に欠くことのできない「リテラシー（読み書き）」となりました。しかし、純粋なオブジェクト指向技術に関するアカデミックな議論や本の知識では、実際の現場の問題は、解決することができません。

ソフトウェア開発の現場で使える技術を「わかりやすく、使える形で」提供することが、オブジェクト倶楽部の使命です。

今回のイベントでは、その技術の一端を、ワークショップ形式で皆様へお伝えしたいと思います。
オブジェクト倶楽部のロゴマーク「10%上昇中、ハート駆動コミュニケーション」に表されるように、イベントに参加して得たものを現場に持ち帰って、ソフトウェア開発を成功に導く事も1つのエコ活動ではないでしょうか。

オブジェクト倶楽部2008夏イベント

2008/7/1(火) 10:00 ~ 18:40 (講演会：3,000円 / 懇親会：5,000円)

国立オリンピック記念青少年総合センター



主賓講演：児玉 公信氏
アジャイル開発体験、電子工作体験
モデリング、ファシリテーショングラフィックなど

※詳しくは <http://ObjectClub.jp> をご覧ください。